

第1回 農村計画研究部会 次世代と学ぶ農村計画（現地研修）の開催（第二報）

当部会では昨年度まで46回にわたり行ってきた、おもに農村計画・農村整備現場担当者対象の研修を目的とした現地研修集会を改め、今年度から農村計画を担う次世代の育成を目的とする新しい現地研修プログラムを行うこととなりました。これは農村地域の社会や経済、空間利用いずれにおいてもその見通しがますます難しくなる中で、農業農村工学において農村計画分野を専門とする人材の育成が希求されているとの理解に端を発する企画です。全国の農村計画に関連する研究室の学生さんが定期的に集える場の形成を目指しています。学生の皆さんはもちろん学生をエンカレッジしたい、あるいは次世代の育成に関心のある農村計画・農村整備現場担当者の方々の積極的な参加をお待ちしています。

1. 主催

農業農村工学会農村計画研究部会

2. 共催

農村計画学会，群馬県利根郡みなかみ町

3. 日程

令和8年9月1日（火）～9月3日（木）

4. 場所

群馬県みなかみ町たくみの里

5. テーマ

都市農村交流による持続的な農村振興

6. 趣旨

90年代以降、ガット・ウルグアイランド関連対策を含む農業構造改善事業等により整備された都市農村交流施設（情報発信，郷土料理提供，特産品販売，宿泊等）を拠点として，農村空間における経済活動および人的交流を促進する都市農村交流事業が，我が国の農村振興施策の一環として展開されてきた。しかしながら，過疎・高齢化の進行や市町村合併に伴う行政区域の広域化，担い手不足の深刻化といった社会構造の変化の中で，これらの取り組みの持続性が大きな課題となっている。

本研修では，都市農村交流による農村振興を先駆的に実践してきた群馬県みなかみ町たくみの里を対象に，我が国における農村振興の取り組みの体系的な学習と現地見学および関係者との意見交換を通じて，都市農村交流の実態と持続性に係る課題を実践的に学ぶ。こうした現場での学びに加えて，学生による各自の研究テーマに基づく発表とそれに対する討議を行う。なお，発表テーマは都市農村交流に限定せず，農村計画に関する各自の研究テーマとし，大学の枠を越えた学際的な議論と交流の場とする。

そして，このプログラムを通して次世代の農村計画を担う人材の育成と，分野横断的な学びと交流の促進を図る。

7. 募集人数

- ・大学生または大学院生 20 名（先着順）
- ・一般（社会人）5 名程度（先着順）

※学会員以外の方もご参加いただけます。

8. 行程（予定）

9月1日（火）

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 13:00 | 上毛高原駅（上越新幹線）集合 |
| 13:30～17:00 | 農村振興に関する勉強会（関東農政局，みなかみ町，大学教員） |
| 18:00～ | 情報交換会 |

9月2日（水）

- | | |
|-------------|----------------------|
| 9:00～12:00 | たくみの里の見学会 |
| 12:00～13:00 | 昼食 |
| 13:00～15:00 | 意見交換会 |
| 15:00 | （合同ゼミに参加しない場合はここで解散） |
| 16:00～18:00 | 合同ゼミ |
| 19:00～ | 親睦会 |

9月3日（木）

- | | |
|------------|----------------|
| 9:00～12:00 | 合同ゼミ |
| 13:00 | 上毛高原駅（上越新幹線）解散 |

9. 参加申込み

(1) 参加費 無料

※集合場所までの交通費は各自負担とする。

(2) 宿泊費 一泊二日の場合は 8,000 円，二泊三日の場合は 16,000 円

猿ヶ京温泉 仁田屋旅館 <https://www.nitayaryokan.com/>

(3) 申込み期限 令和 8 年 7 月 17 日（金）※定員に達し次第，締め切ります

(4) 申込みフォーム

下記 URL もしくは右記二次元コードより登録してください。

<https://forms.gle/k3NrYZgPkTuEMtaZ8>



(5) 問い合わせ先

研修集会担当

東京農工大学 中島正裕

E-mail : masa1021@cc.tuat.ac.jp

農村計画研究部会 事務局

三重大学生物資源学部 森本英嗣

E-mail : morimoto@bio.mie-u.ac.jp